

昭和52年 5月25日 第3種郵便物認可 令和3年 8月10日発行 (毎月1回10日発行)



世界の円満
人類の福祉

THE ENPUKU

8月

2021

No.491



世界法民連帯 円福友の会

円福友の会入会のすすめ

1食1円のSABA運動で世界の平和に尽くしましょう。

SABAとは、禅寺の僧堂でお食事の前に、七粒ほどのご飯をお膳のすみに取っておき、後で小鳥に施す「生飯(さば)」というお作法のことです。

これを日本の皆さんの1食1円のSABAとして、アジアの貧しい国々の子ども達のために学校建築(教育)や、井戸やトイレの設置(環境衛生向上)を支援する、国際ボランティア資金の運動です。1食1円ならどなたにもできます。塵も積もれば山となるように、皆さんの御協力をお願いする大きな愛の運動です。(この運動は、特定の政党や宗教や思想に関係のない、非営利の国民運動です。)

綴じ込みの郵便振替用紙を使い年会費やSABA運動等の協力金をお送りください。お送りいただいた皆様には毎月『圓福』と『おもしろやり』をお送りし、円福友の会の活動と円福寺愛育園の子どもたちの様子をご報告いたします。

表紙の写真

円福友の会から送ったお金で、キムさんがアルコールを2リットルとマスクを1,000枚購入してくれました。

アルコールは500mlペットボトルに詰めて、日本の円福友の会の寄付と書いた青十字のラベルを貼ります。

マスクは25枚ずつ袋に入れ、ペットボトルと一緒に袋詰めします。

約400個ができました。キムさんのお嬢さんのイーちゃんとリンちゃんが袋詰めを手伝っています。

2019年に日本に来た時より、ずいぶん大きくなりました。

8月号の内容

にこにこ法話 競争しない会社	1 p
カンボジア支援 コロナ感染拡大	2 p
ドゥアン・プラティープ財団の40年—スラムの天使の歩みと闘い(その6)	6 p
2021年度 円福友の会支援 クロントイスラム奨学生	9 p
奨学金の領収書	11 p
大心 「旦過寮」	12 p
敬愛信 黒澤忠氏からの手紙	16 p



国際箸学会は今年創立十五周年を迎えます。十五周年記念式典は十一月二十五日に川口市で予定しています。それまでにコロナが収まつて、大勢の皆さまと十五周年をお祝いできま

すように。

国際箸学会会長の

小宮山栄氏は、特殊ミラーを作る（株）コミーの社長さんで

す。コミーの経営マネジメントは「競争

しない」ことです。小宮山社長は日経B

P社の「なぜ、社員十人でもわかり合え

ないのか」の中で、次のように話してい

ます。

「私には独自の経営哲学があります。

他の会社とたたかわない、ということ

競争しない会社

(66 p)

小宮山さまは「信用」と「US（使用

者の満足度）」を大切にした商品開発に

より会社を発展されました。愛育園も競

争しない児童養護施設でありたいと思

います。私は「子どもの養育」を追求し

て、愛育園の発展を目指そうと思ってい

ます。「金を追うな仕事を追え」ですね。

す。日本企業の多くは、絶えざる競争の中で生きています。でもたたいはそれだけでくたびれる。限られた獲物を争って捕る『狩猟民族』ではなく、限られた場所所で種をまきじつくり育てる『農耕民族』でありたい。他社が競争に使うエネ

ルギーを、コミーは創造に向ける。こ

れが会社員生活で自

分を活かせなかった

私が選んだ道です。」

カンボジア支援

コロナ感染拡大

カンボジアで新型コロナウイルスの感染が拡大しています。グーグルで調べると一日当たりの新規感染者は約千人、死者は約三十人になっています。

キムさんに様子を聞きました。

カンボジアは今コロナウイルスが大変です。今、私の村には六人ウイルスがうつっています。村の人は土地に閉じ込められて、市場も閉じられています。(六月二十五日)

先生 今 私の村の人はたくさんコロナウイルスがうつっています。怖いです。今までこんなことを見たことが無いです。聞いたこと

もないです。人と人がお互い怖がついています。違うところから来た人をみんな見て、コロナを持つているかどうか疑っています。カンボジアは病院が強くないので、国民からあまり信用が無いです。お金持ちの人は外国の病院で入院します。でも今は国から出国できない。

カンボジアは多分コロナウイルスを止められないのかと考えています。

毎日病人はたくさん増えて、死亡者も増えています。

カンボジア人は、特に村の人はみんな知り合い。よく顔を合わせ、よく話をして、よくビールを飲んで、コロナウイルスがうつりやすいです。

今、もうすぐ二年。私のガイドの仕事はゼロです。

今、ドローンで村の人の田んぼを農薬を撒

く仕事をしています。何となく生活はまあま
あ行けます。

今、農業をやる人は食べていけません。街の
人は、特に宿を借りる人は死にかけるかもしれ
ません。私のシエムリアップの家は人に貸
して、コロナウイルスが来ない前には一つの部
屋で五十ドルが毎月もらえました。最近まで
一つの部屋で二十ドルがもらえています。でも、
今、誰も払ってくれません。電気代だけみん
な払ってくれます。きつとみんなたいへんだ
と思います。

エコ村は行けるときにすぐに行きます。そ
こらへんはコロナウイルスがあるかどうか分
かりません。こちらのことは心配しないでく
ださい。コロナウイルスが少なくなつて、県
を越えることができれば行きます。(七月五日)

キムさんに、コロナは口から入るので、食

事の時にもっとも注意しましょう、つばきで
飛びます、と伝えました。

すると

きつとみんなそのことを気にしないと思ひ
ます。私でも、あまり気にしなかったです。

出かけるときだけマスクをして、帰つてき
ても手を洗わずにご飯を食べたり飲んだりし
ます。昔、コロナウイルスのことを聞いてそ
んなに危険じゃないと思いました。でも感じ
を変えました

キムさんの話を聞いて、日本から除菌ティッ
シュを送つて、食事の前に手を拭く習慣をつ
けてもらおうと思いました。でも、アルコー
ルは送れないのです。

ノンアルコールの除菌ティッシュではコロ
ナに効果は無いそうです。

それで、お金を送つて、キムさんにカン



ボジアのアルコールやマスクなどを買ってもらって、村の人に配ってもらうことにしました。七月十一日に十万円を送りました。手数料等を引かれて、八八四・五九ドルになってしまいました。

七月二十日にキムさんから写真とメールが届きました。

アルコールの量は二〇〇リットル、マスクは一〇〇〇枚です。アルコールは五〇〇mlのボトルに入れて配りました。マスクは二五枚ずつ分けて配りました。取りに来る人に、アルコールの一本とマスク一つ（二五枚）の



袋をあげました。

キムさんの二人のお嬢さんが、マスクの袋詰めを手伝っています。

ペットボトルに薬品のしるしの、青十字マークのラベルを貼っています。

ラベルにはジャ
パニーズの寄付と
書いてあります。
お坊さんにプレ
ゼントしました。



先生、アルコー
ルは全部で三八〇
本くらい入れられ
ました。残りは私
は自分で使っています。マスクは四〇〇袋に
して全部渡しました。

これでも足りなくて配り終わっても後から
取りに来る人がたくさんいました。違う村か
らくる人が多かったです。

キムさんが頑張り、キムさん家族も頑張っ
ている様子が写真から伝わってきました。ま

だまだ足りなくて後から取りに来る人がたく
さんいたというので、追加で二十五万円を送
りました。二二三五、三六ドルです。(7/20)



ドワン・プラティープ財団の40年

「スラムの天使」の歩みと闘い（その六）

プラティープ・ウンソントム・秦

四、クロントイの歩み

これからこの本を読み進めていただくために、「クロントイ」と呼ばれる地域がどんなところであるのか、首都バンコクの中でどんな位置を占めているのかを記しておきます。

クロントイの歴史を語る際には、クロントイ地区に流れるクロントイ運河とクロントイスラムを区別しなければなりません。地名とその周辺の環境のつながりにはとても興味をひかれて、その結びつきを調べて知りたくなるものです。

クロントイ運河は、十九世紀のラマ四世時

代にチャオプラヤー川とフアランポーン運河を現在のクロントイ市場付近まで延伸するために掘り起こされました。この新しく掘り起こされた運河がなぜ「クロントイ」と呼ばれたかという点、湿地帯の運河（タイ語でクロン）には「トリー」という植物が密集して生い茂っており、当時の住民がその自然のありさまをあるがままに「クロントリー」あるいは「クロントイ」と名付けたのが始まりです。

当時クロントイ地区に住んでいた長老の話では、クロントイ運河はサムットプラカーン県のバークナムと呼ばれる地区や同県のプラブレードン郡の商人たちが野菜や果物を船でマハーナーク運河へ売りに行くための近道として利用されていたそうです。クロントイ運河はチャオプラヤー川に隣接しフアランポーン運河、ナンホン運河、セーンセーブ運河そしてマハーナーク運河と繋がっており、そこは当時の市民の主要な商いの場でした。また当時はフアランポーンとサムットプラカーン県のパー

クナームを運行する赤や緑の乗客船もありました。

現在のクロントイ運河は、クロントイナイ寺から始まって、チャオプラヤー川からタイ国たばこ専売公社の裏まで流れてナンホン運河に合流します。フアランポーン運河は、ラマ五世によってフアランポーンとサムットプラカーン県のパークナーム間の水上交通手段の確保するために掘削された運河で、現在もかつての旧鉄道路路線跡沿いに運河を見ることができます。この旧鉄道路線は、今は「旧鉄道路線通り」と呼ばれるクロントイからサムットプラカーンへ続く道に作りかえられました。

行政区としてのクロントイの区名は、タイ政治史の大きな転機となった立憲革命がおこる一年前の仏暦二四七四年（西暦一九三二年）までは、プラブラデーヌ県プラカノン郡クロントイ町と呼ばれており、その後プラブラデーヌ県が廃止されプラナコーン県プラカノン郡クロントイ町へ、更に仏暦二五一六年（西暦一九七三

年）にバンコク都プラカノン区クロントイ町となり、さらにその後現在のバンコク都クロントイ区に定まりました。

クロントイスラムが現在のように多彩に発展するまでの道のりを、今から八〇年前の仏暦二四八〇年（西暦一九三七年）までさかのぼってみると、この辺りの土地はまだ整備されておらず、耕作地としてチャオプラヤー川沿いには田んぼが広がっていました。仏暦二四八〇年から仏暦二四八二年（西暦一九三七年から西暦一九三九年）にかけて、タイ政府はクロントイ港建設のために約二、〇〇〇ライ（一ライは〇・一六ヘクタール）の土地収用を行いました。しかし、第二次世界大戦の勃発ですべてが途切れてしまいました。この地を住宅地として多くの人々が住み始めるのはこの時期からです。おりしもこれは港の道路建設と荷の積み降ろしのための労力が必要とされ始める時期にも重なりました。その後、仏暦二四九〇年（西暦一九四七年）にバンコク港（クロント

イ港）事務所が開設され、仏暦二四九四年（西暦一九五一年）に法令で港は港湾局に引き渡されました。

クロントイ港はこうしてからつぽで何もなかった大地をタイの貿易・ビジネス中心地へと変えていったのです。そして、工場や青果市場等さまざまな経済活動が興されました。低賃金労働者がこれらを推し進める重要な「エネルギー源」となりました。クロントイは、職とより豊かな生活を求めてやってくる地方の人々を磁石のように引き寄せました。港の周辺の公有地は、首都にやって来るだけで精いっぱい貧しい人たちが、自分の力に応じたあるがままの住処をつくる場所になりました。自分の家を建てるだけの資金が無い人々にとっては大きな節約で、雨風を辛うじて防ぐだけの質素な家々が密集して連なるようになっていきました。

住処と職場が近いというのも人々が集まるもう一つの理由です。土地侵入、占拠、人口密集等々の社会問題が至る所で生じるようにな



50年前のクロントイスラム

りました。その頃タイでは、第一次国家経済社会開発計画（仏暦二五〇四年、二五〇九年（西暦一九六一年）一九六六年）が策定され、その中には「不衛生・退廃地区」の問題対策も盛り込まれていました。当時、「開発」という名の辞書には「人口密集コミュニティ」という言葉は存在しませんでした。「不衛生・退廃地区」という言葉は、問題対策を決めた政府の役人や都会の富裕層の考え方や視点をとてもよく映し出しているといえます。（続く）

2021年度 円福友の会支援 クロントイスラム奨学生

こんにちは。今年に入ってから時の経つのをとても早く感じます。新学期から大学5年に進級します。ここ最近ですが、別に誰とも喧嘩をしたわけでもないのですが、親友と少ししっくりいなくなってきました。私のことについて告口をしていることを耳にしたため、今までのように親友とさえなくなったのです。それでも、内心で思っているだけで表面的には従来通りに接しています。あまり気にしないように自分らしくし行動していきます。

私のことばかりについて綴りました。心境を書くことができ、とても感謝しています。心境を敬意をこめて ガノックポーン・マハーボンより



奨学生登録番号

5864/481/F

名前

カノックポーン・マハーボン

学年

大学5年生 (2021年度)

こんにちは。毎回里親様にお手紙を書くことができて、私はとてもうれしいです。里親様、皆さんにはお元気ですか。私と家族は元気にしています。この手紙を書いている今は夏季休暇中なので、私は例年のようにレストランでパートタイムとして働いています。いろいろな人と交わって良い経験になります。新学期から大学5年に進級し、実習期間に入りますので、復習をしています。今の成績を維持するために一生懸命勉強していきます。それでは、里親様、皆さんのお幸せとご健康をお祈りいたします。敬意をこめて ナームティップ・スリーサワンより



奨学生登録番号

5917/483/F

名前

ナムティップ・スリーサワン

学年

大学5年生 (2021年度)



奨学生登録番号

6227/501/F

名前

グンラサトリ・チュースワン

学年

大学5年生(2021年度)

こんにちは。私はグンラサトリ・チュースワンです。ニックネームはテイングワーといします。大学4年を終えてこの新学期から大学5年に進級します。他の大学生よりもあと1年勉強していかねばなりません。全力を尽くします。大学5年になると、教育実習期間に入ります。実習校は、家の近くにある学校でプラカノンウィタヤライ校です。私は元気になっています。里親様はお元気ですか。ご健康に十分気をつけてください。私も卒業して就職するまで健康に注意していきます。敬意をこめて

グンラサトリ・チュースワンより



奨学生登録番号

6820/583/F

名前

スニサー・チャーニヤム

学年

大学2年生(2021年度)

こんにちは。里親様にはお元気のことと思います。この新学期から私は大学2年に進級します。これから大学の授業も徐々に難しくなっていくと思います。私の専攻は建築デザイン科なので、他の科とはかなり違っていて、モデルハウスをたくさん製作しています。本来ならば暑季休暇に入っているのですが、難しいプロジェクトに取り組んでいて、これが試験になります。里親様も私のことを応援してください。

敬意をこめて

スニサー・チャーニヤムより

奨学金の領収書

Ref. No. of29 / 2021

2021年7月1日

円福友の会

(ENPUKU-TOMO-NO-KAI)

代表 藤本光世様

Rev. Kosei FUJIMOTO

869 Shinonoiyokota, Nagano-shi,

NAGANO 388-8005 JAPAN

奨学金ご送金のお礼

拝啓

盛夏の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。藤本先生をはじめ貴会の皆様におかれましては、平素より当財団の教育里親としてご協力いただき、心より厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、藤本先生にはご支援いただいております奨学生たちのために奨学金をご送金いただき、誠にありがとうございました。お預かりいたしました金額は、2021年度教登と新型コロナウイルス感染症(COVID-19)予防活動のために大切に活用したいと存じます。

当地タイは雨季に入り蒸し暑い日々でございますが、里親様にはいかがお過ごしでしょうか。また、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界各地に拡大し、各国においては大勢の犠牲者が出ており、当地クロントイでも感染者が出てきたため、建物の消毒や衛生面等を厳重に行っております。

末筆ではございますが、財団職員一同及び奨学生たちに代りまして、藤本先生益々のご活躍と

皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

敬具

ドワン・プラティープ財団

創設者

Platip P. U. 泰

プラティープ・ウンソンタム・泰
Mrs. Prateep Ungsongtham-Hata

 ใบเสร็จรับเงิน RECEIPT มูลนิธิดวงประทีป 100-101 ถนนสุขุมวิท แขวงคลองเตย เขตคลองเตย กรุงเทพมหานคร 10110 TEL: 02-260-0000 FAX: 02-260-0001 E-MAIL: info@duangprateep.org www.duangprateep.org		เลขที่ใบเสร็จรับเงิน: 01143 วันที่ออกใบเสร็จรับเงิน: 2021-07-01
รายการรับเงิน (Description of Receipt) 1. เงิน (Cash) 2. เช็ค (Check) 3. เงินโอน (Bank Transfer)	จำนวนเงินรับ (Amount Received) 21001937	หมายเหตุ (Remarks) เงินบริจาค (Donation) เงินอุดหนุน (Grant) เงินกู้ยืม (Loan)
องค์กรรับเงิน (Organization) มูลนิธิดวงประทีป 100-101 ถนนสุขุมวิท แขวงคลองเตย เขตคลองเตย กรุงเทพมหานคร 10110 TEL: 02-260-0000 FAX: 02-260-0001 E-MAIL: info@duangprateep.org www.duangprateep.org	องค์กรจ่ายเงิน (Organization) มูลนิธิดวงประทีป 100-101 ถนนสุขุมวิท แขวงคลองเตย เขตคลองเตย กรุงเทพมหานคร 10110 TEL: 02-260-0000 FAX: 02-260-0001 E-MAIL: info@duangprateep.org www.duangprateep.org	องค์กรจ่ายเงิน (Organization) มูลนิธิดวงประทีป 100-101 ถนนสุขุมวิท แขวงคลองเตย เขตคลองเตย กรุงเทพมหานคร 10110 TEL: 02-260-0000 FAX: 02-260-0001 E-MAIL: info@duangprateep.org www.duangprateep.org

同封：領収書 (21001937) 額面
JPY500,000 円 ... 1 枚

大心 圓福

自身が生まれ変わるということ

大本山永平寺安居を終えて

藤本 大心

「旦過寮」

先月は山門に立つまでの話を書かせて頂きました。旦過寮に通されますと、まずは客行和尚さんに「御開山拝登並びに免掛搭よろしゅう」と全員で挨拶をして三拝しました。その後指導係の修行僧の方がいらつしやいました。永平寺の指導役の方のオーラと厳しい雰囲気はとても伝わってきました。指導役の修行僧の方は四名ほどいらつしやいまして、その中の一人の方が長く私

たち六番上山で指導をして下さいました。とはいつても一番厳しい方でしたので、本当に気を許す暇が無い状態です。旦過寮で何をするかと言いますと、約一週間、僧堂に入れるか（入堂）どうか基本的な作法を徹底的に学ぶのです。坐禪、おつとめ、食事の作法はもちろんですが、東司（とうす：トイレ）での作法、顔を洗う作法、作務（さむ：掃除）の作法、就寝の作法を学びます。目を見てはいけない、話してはいけない、そして常に壁を向いて（面壁）待機し、許しがある場合のみ他の行動ができる状態です。部屋には長机が並んでおり、その上に袈裟行李を置きまして、絛子や経本、足下には坐蒲や後付行李や座具（ざぐ：お拝するときに敷く物）や襪子（べつす）、手巾を起きます。この置き方も全て定められており、位置がずれていたり違う場所に置いてあると注意を受けて没収されてしまいます。部屋には時計は無く、時間の感覚もありません。東司にも自由にはいけず、指示があったときに一斉に行きます。

一日の流れは、三時に起こされて急いで布団を

しまい、直綴（じきとつ：お坊さんの黒い着物）を着て東司に行きます。この時スリッパの足音を立ててはいけません。修行僧は普段スリッパを履いています、白い紐のスリッパが一年目、黒い紐のスリッパが二年目以上の古参和尚さんになります。万が一黒いスリッパの修行僧の方とすれ違う場合は気づいた時点で立ち止まり、合掌低頭をして過ぎ去るのを待つのです。どうぞといわれるまで動けません。ですので白いスリッパの状態では下手なことは本当にできません。気を抜かず、何かあるとすぐに古参和尚さんから指導を受けてしまいます。永平寺ではスリッパで上下関係がはっきり区別されるのです。東司の話からそれてしまいました、東司は大変作法が厳しく、まず東司に入ったら烏枢沙摩明王様に合掌低頭をし、直綴を脱ぎます。着物姿で和式の個室の扉を開けて弾指（たんじ）をし、中のスリッパを左手で出し、自分が履いていたスリッパをつま先をそろえて置きます。このスリッパのつま先が1cmでもずれると大変注意されてしまいます。用を足したら弾指をしてスリッパを履き替えて中のス

リッパを戻し、手を洗います。シンクの水は排水口に手で流し、手を拭きますが、拭いたらタオルの下の角を両膝をついてそろえます。そして直綴を着て烏枢沙摩明王様に合掌低頭をします。

廊下で洗面の威儀になり、洗面に行きます。洗面は桶一杯の水で顔を順番に洗い、最後に歯を磨きます。五架洗につきましたらまず白山明利大権現様に全員でそろえて合掌低頭をし、一切音を立てないように桶に水を入れます。洗面と歯磨きも同様に音を立てないように行います。終わったら桶の水を音を立てないように壁に測を付けて流し、シンクの水は手で排水口に流します。そうして戻りますと、暁天坐禅に向かいます。外単で四十分〜五十分朝の坐禅を行います。外単で僧堂の音を聞きながら坐禅をします。鳴らし物に合わせて坐禅をし、朝のお勤めの朝課諷経に向かいます。法堂の一番端で指導を受け、最大で七つのお経を長くて四十分〜四十五分程度正座で唱えます。経本は肘を張って目の高さで持ちますので、腕も疲れますが何より足が正座でしびれて最後の三拝に初めの頃は立つことができ

ませんでした。

朝課諷經後は小食僧堂飯台（朝のお食事）です。食事は僧堂の外単（がいたん）で僧堂内の修行僧の僧堂飯台のスピードに合わせて頂きます。行鉢の作法は本当に厳しく、単に上がる作法から応量器を下ろして偈文を唱え、給仕をして頂く作法も全て完璧に行わなければなりません。約四十分坐禅をしたまま頂くので、それも慣れていないと大変です。この時、古参和尚さんが三々四名で作法のチェックをしつかりしますので、順番が違ったり肘が曲がっていたり片手で持ったり首を曲げて食べたり食べるスピードが遅かったりしますと、とにかく指導が入ります。古参和尚さんより早く食べてはならず、全て合わせて食べます。とても食べた気にはなりません。食事は精進料理ですので常に空腹です。

小食が終わると廻廊清掃なのですが、この廻廊清掃は私にとって最大の難関で、旦過寮は地下にあります。そこから一番上の法堂まで駆け上ります。その時点で私は息切れでフラフラだったのですが、そこから雑巾がけをしながら下

りてきます。最初は承陽殿（じょうようでん）までの廊下を雑巾がけするだけで足が悲鳴を上げてしまいました。そこから七十段程あるでしょうか……階段を雑巾がけしながら下りていき、最後は山門の廊下を雑巾がけしますが、もはやそこでは体力は残っておらず、他の同安居の仲間は何れでも食らいついていましたが私は一歩も前に足が出ない様な状態でした。必死でやるのですが動きません。古参和尚さんから慈忍体力なさ過ぎだぞ！とお叱りを受けてもどうにも動かないのです。初日からこれでは私はどうやってついていけないのか、自分の体力不足を本当に悔やみしました。

廻廊清掃が終わると旦過寮に戻ってひたすら正座と坐禅です。そこで永平寺の鳴らし物と偈文の点検も同時に行われました。上山前に覚えてくるようにと言われていたので全て覚えていたのですが、一人ずつ当てられ、それを正座した状態で待つのです。中には全然覚えていない人も居ましたので、大変に叱られて追い詰められていました。正座は何分していたのか時計がないのでわ

からないのですが、三千〇四十分くらいでしょう。もじもじしたら怒られますから、ひたすら動かずに座ります。空いている時間ほぼ正座で過ごします。私もこの正座地獄の話は聞いてから上山したのですが、十分程度でしびれていましたから三十分間微動だにしてはいけなくなると、足の感覚は無く、激痛に苦しみ痙攣が止まらない状態でした。そして日中諷経、中食僧堂飯台、晚課、夜坐と続き、一日終われば肉体的にも精神的にもかなり苦しい状態でした。一言もしゃべらず、時間もわからず、指示された通りに過ごすことの苦しさに心が折れそうになったとき、隣で一緒に耐えている仲間が居るだけで心の支えになりました。それを七日間、浴司（よくす・風呂）にも入らず、髭も剃らずに過ごし、全員が耐え抜き、ついに修行僧の仲間入りを許される入堂の日がやって来ました。入堂の話はまた次回書かせて頂きます。

私が旦過寮で学んだ事は、自分の体をコントロールすることの難しさです。例えばお食事を頂くとき、坐禅をして厳肅な作法通りにお食事

を頂きます。器をしつかり顔の高さまで持ち上げて肘の裾が落ちないように肘を水平に張って頂きますが、それを同時に行うといつの間にか背筋が曲がってしまうのです。ただ背筋を伸ばすだけのことを私だけ最初に四回も注意されて、ついに古参和尚さんに思い切り怒られてしまいました。自分では背筋を伸ばしていたつもりでも四回も注意されるまで直せなかったことに大変情けなさを感じ、意識を常にしつかり持つて取り組むようになりました。気を抜いたり他のことに気をとられるとなかなかできないのです。もう一つは自分の限界を何度も超えるという事でした。通常でしたら痛くてやらないことや苦しくてしないことも、必死になつて行う中で、徐々にいつて行けるように変化していく自分を感じたとき、自分の事を少しづつ信じられるようになっていきました。入堂後、衆寮に配属になります。そこで自分の「我」の強さを痛感させられました。苦しい旦過寮を抜けて、自己を見つめる厳しい修行が始まったのです。

敬愛信

黒澤 忠 氏からの手紙

拝啓

七月になり夏らしくなってきました。

ドンソン小学校の銘板、貴重な記念になる物を作らせて頂き大変ありがとうございます。不要の輸出業務に詳しくなく、不要の出費をお願いしたのではないかと反省しております。

種々手違いがあり、ご迷惑をおかけいたしました。前回（国内）の書類で完全に終了いたしました。何回ものことで大変申し訳なく思っております。

私もライオンズクラブの一員

としてラオス（学校建設・トイレ）に引き渡しのセレモニーで行って参りました。自分たちがいかに恵まれているか嫌という程知らされて帰ってまいりましたが、反面実におおらかな人たちと触れて自分の狭量を又身をもって知ることができました。素直に自分のできることをすることによって、少しでも喜んでいただけると、本当に素晴らしいことだと思っております。私も八十一歳になり、今まで自分のしてきたことを振り返るようになりました。又日本を離れたところで交流をさせて頂く機会があったことが自分の生き方の中に強く良い影響を受けたことも事実で、井の中の蛙にいる所、少しは外に目がいくようになったかなと嬉しい思いをしており

ます。コロナ騒ぎが収まったら是非一度訪問してみたいと思っております。今回も外に目を向ける機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。今後共宜しくお願い申し上げます。合掌

令和三年七月一日

クロサワメタル株式会社 黒澤 忠 拝



クロサワメタル様には、ドンソン小学校の寄付者銘板を作成

していたきました。写真の左が黒澤忠様、中央は倫理法人会国際ボランティア委員長の櫻井茂利様です。



トラックの中の板箱に梱包されている物が、奥さんの実家に届いた寄付者銘板です。

感謝のお知らせ

○令和三年七月分

(六月二十六日～七月二十一日)

●SABA資金

(千葉県)

(埼玉県)

(山梨県)

(長野県)

(新潟県)

(徳島県)

●エコ村支援

(埼玉県)

●おもいやりの会
(長野県)

樣樣樣樣 樣 樣樣樣樣 樣樣樣樣樣樣

●タイスラム奨学生支援
(長野県)

様 様

ご協力ありがとうございました。

八月の法母会

二十一日 午前八時半より

九月の参禅会

五日 午前五時より

『円福』

令和3年8月号

第四九十一号

定価一五〇円

発行日 令和3年8月10日

発行人 藤本光世

発行所 円福友の会

〒388-8005 長野市篠ノ井横田円福寺

TEL 03-2921-0381

FAX 03-2193-1962

○五二 振替口座

〇〇五二〇一七一六二五六

円福友の会・SABAスクール

愛の日の丸 SABA運動

カンボジア小学校校舎建設

カンボジア エコ村支援

タイ スラム街奨学生支援(教育里親)

大災害被災地支援

シャンティ国際ボランティア会協力

おもいやりの会(愛育園児童自立支援)

太平観音堂護持発展

円福友の会入会のすすめ

上記の協力金は 郵便振替 00520—7—16256

加入者 円福友の会 あてに御送金下さい

〒388-8005 長野市篠ノ井横田 円福寺内

TEL 026-292-0381

FAX 026-293-9629

<http://ryu-enpukuji.com/tomonokai/>

enpuku2@janis.or.jp